

「舞鶴版Society5.0」実現に向けた多様な連携③

舞鶴工業高等専門学校・KDDIとの連携

【舞鶴市、舞鶴高専、KDDIと地域活性化を目的とした連携に関する協定締結】

相互連携と協働による活動を推進し、3者の様々な資源を有効に活用することにより、舞鶴市の課題を解決し、この地域の活性化を目指す

＜連携協定内容＞

1. 産業の活性化に関する事項

(1) 「定置網」漁業IoTプロジェクト

最新鋭のスマートブイの水温・潮の流れ等の海洋データや網の中の水中画像データ等を組み合わせて、漁獲量の予測を行い、効率的に定置網漁を行う。

(2) スマートな万願寺甘とう栽培

IoT技術を活用し、ハウス内の温度・湿度・照度・CO2などを自動で測定・監視することで、品質向上や収穫量の増加等に役立てる。

また、データの蓄積により、気象条件に応じた栽培技術の画一化と産地力の向上を図る。



2. 防災に関する事項

(1) 高潮・豪雨浸水・土砂災害・積雪監視

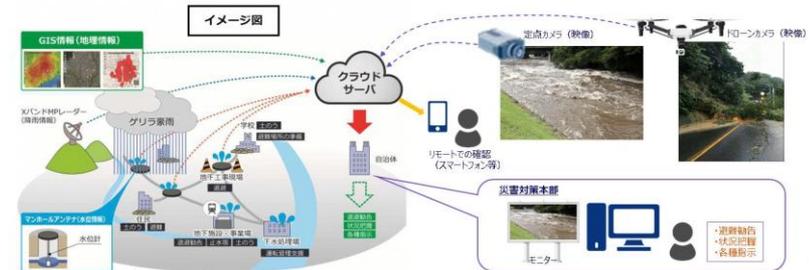
近年、高潮・豪雨による浸水被害や土砂災害等が頻繁に発生。

これらに対応するため、GISの地理情報の他に、各地に設置したデータ収集機器（例：道路・河川定点カメラ、ドローンカメラ等）の情報をタイムリーに集め、現場の状況確認を行い、適切な対応や作業の指示ができるよう監視システムの構築を検討。

(2) IoTを利用した避難所運営

頻発するゲリラ豪雨などにより、避難所の開設回数は増加。

これらに対応するためIoTを活用し、避難所施設の自動解錠・施錠や、施設内の室温・湿度・CO2などのデータを把握する中で、快適な環境づくりを目指す。



3. スマートシティに関する事項

ICT等の新技術を活用し、さまざまな分野で舞鶴市の抱える課題解決が図れないか調査・研究。